内閣は、財政法第46条第２項の規定によって、令和８年度第１・四半期における国庫の状況を次のとおり報告する。

国　庫　の　状　況（令和８年度第１・四半期　財　務　省　調　査）

目　　次

１　財政資金対民間収支
２　国庫対日銀収支
３　政府預金
別表１　財政資金対民間収支実績表
別表２　財政投融資収支実績表
別表３　外国為替資金収支実績表
別表４　国庫対日銀収支実績表
別表５　政府預金増減及び現在高表
別表６　財政資金収支分析表
参考　政府短期証券増減及び現在高表

［用語の説明］

＊１　国庫の状況　・・・　財政法第46条第２項の規定に基づく国会及び国民に対する報告として、政府預金の増減並びにその原因となる財政資金対民間収支及び国庫対日銀収支の状況について財務省において集計したものである。

なお、財産権の主体としてみたときの国を行政、司法等の作用の主体としての国から区別して「国庫」といい、国庫に属する現金を総称して国庫金という。

（参考）　財政法（昭和22年法律第34号）

（財政状況の国民及び国会への報告）

第四十六条　内閣は、予算が成立したときは、直ちに予算、前前年度の歳入歳出決算並びに公債、借入金及び国有財産の現在高その他財政に関する一般の事項について、印刷物、講演その他適当な方法で国民に報告しなければならない。

②　前項に規定するものの外、内閣は、少くとも毎四半期ごとに、予算使用の状況、国庫の状況その他財政の状況について、国会及び国民に報告しなければならない。

＊２　財政資金対民間収支　・・・　国の財政活動に伴う民間との間の資金の受払。

＊３　受取超過　・・・　資金の受入額が支払額より大きいこと。

＊４　支払超過　・・・　資金の支払額が受入額より大きいこと。

＊５　国庫対日銀収支　・・・　国と日本銀行との間の資金の受払。

＊６　政府預金　・・・　国庫金の出納事務を行っている日本銀行において受入れた国庫金。

㈱　本報告書における計数については、各単位未満を四捨五入しているため、計において一致しない場合がある。

令和８年度第１・四半期国庫の状況（＊１）

第１　財政資金対民間収支

令和８年度第１・四半期の財政資金対民間収支（＊２）は、20兆2,086億円の受取超過（＊３）であって、前年同期（14兆812億円の受取超過）に比べ、６兆1,274億円受取超過額が増加した。収入は、前年同期（248兆3,094億円）に比べ、15兆4,509億円増加して263兆7,603億円となった。一方、支出は、前年同期（234兆2,282億円）に比べ、９兆3,235億円増加して243兆5,517億円となった。

以下、主な項目についてみると次のとおりである。

１　一般会計（別表１参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	令和８年度第１・四半期 収入	令和８年度第１・四半期 支出	令和８年度第１・四半期 差引き	前年同期 収入	前年同期 支出	前年同期 差引き
租税	349,383	75,397	273,986	310,116	70,765	239,352
税外収入	17,999	—	17,999	22,494	—	22,494
社会保障費	—	82,508	△ 82,508	—	67,720	△ 67,720
地方交付税交付金	3,110	102,449	△ 99,339	2,861	92,780	△ 89,919
防衛関係費	—	26,361	△ 26,361	—	23,971	△ 23,971
公共事業費	—	20,860	△ 20,860	—	20,519	△ 20,519
義務教育費	—	5,408	△ 5,408	—	5,136	△ 5,136
その他支払	—	60,598	△ 60,598	—	54,800	△ 54,800
計	370,491	373,581	△ 3,090	335,471	335,691	△ 220

期中における一般会計の収支は、上表のとおり、3,090億円の支払超過（＊４）であって、前年同期（220億円の支払超過）に比べ、2,870億円支払超過額が増加した。

その内訳をみると、収入は、租税が前年同期（31兆116億円）に比べ、３兆9,267億円増加して34兆9,383億円となったこと等により、前年同期（33兆5,471億円）に比べ、３兆5,020億円増加して37兆491億円となった。一方、支出は、社会保障費が前年同期（６兆7,720億円）に比べ、１兆4,788億円増加して８兆2,508億円となったこと等により、前年同期（33兆5,691億円）に比べ、３兆7,890億円増加して37兆3,581億円となった。

２　特別会計等（別表１参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	令和８年度第１・四半期 収入	令和８年度第１・四半期 支出	令和８年度第１・四半期 差引き	前年同期 収入	前年同期 支出	前年同期 差引き
財政投融資	22,093	24,702	△ 2,609	33,850	39,121	△ 5,271
外国為替資金	142,236	24,772	117,464	23,531	25,786	△ 2,255
保険	133,062	207,166	△ 74,104	127,416	199,593	△ 72,177
その他	12,365	46,576	△ 34,211	7,737	30,103	△ 22,366
計	309,756	303,216	6,540	192,534	294,603	△ 102,069

期中における特別会計等の収支は、上表のとおり、前年同期の10兆2,069億円の支払超過から、6,540億円の受取超過となった。

収入は、前年同期（19兆2,534億円）に比べ、11兆7,222億円増加して30兆9,756億円となった。一方、支出は、前年同期（29兆4,603億円）に比べ、8,612億円増加して30兆3,216億円となった。

主な項目についてみると次のとおりである。

⑴　財政投融資特別会計（別表２参照）

財政投融資の収支は、2,609億円の支払超過であって、前年同期（5,271億円の支払超過）に比べ、2,662億円支払超過額が減少した。収入は、前年同期（３兆3,850億円）に比べ、１兆1,758億円減少して２兆2,093億円となった。一方、支出は、前年同期（３兆9,121億円）に比べ、１兆4,419億円減少して２兆4,702億円となった。